

教職員の皆さんへ

新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりに伴い、全国に緊急事態宣言が発令され、3月の臨時休業に続き、5月31日までの臨時休業を余儀なくされました。まさか、ここまでのことが起きるとはだれも予想し得なかったことですし、誰も経験したことのない非常事態です。

この間、先生方には、子供たちや保護者の不安を少しでも取り除くために何ができるか、何をしなくてはならないか、学校全体で知恵を出し合って考えていただきました。配布するプリントにコメントを書いたり、手紙を添えたり、笑顔でメッセージをDVDに撮影したり等、子供たちとのつながりを工夫していただいていることに、改めて心から感謝申し上げます。

とはいえ、全ての子供たちの学習を保障し、一人一人がこれからの社会でたくましく自己実現していく力を育てることが使命である学校において、目指している教育活動ができないことにたくさんの葛藤があることと思います。

目指している「学び合い」の授業や子供たちとのふれあいがもてないという不安。この状態がいつまで続くのかという不安。学校が再開されたとして、感染症を出してしまうのではないかと不安。子供たちの学習がきちんと保障できるのかという不安等、たくさんの心配やジレンマを抱えて日々過ごしておられることと思います。

しかし、今、一番辛い思い、悲しい思いをしているのは子供たちです。不安で、心配でたくさんの閉塞感を抱えていると思います。その不安を取り除くためには、私たちが、「あれもできない」「これもできない」ではなく、「工夫すればこれはできる」と、見方を変えていくことが大切だと考えます。「今できる形で最大の効果をあげるにはどうしたらいいか」ということについて、さらなる知恵を出し合っていきたいと思います。

広島県教育委員会から、自主登校についての考え方が出されたことを受けて、安芸高田市においても、来週から自主分散登校を実施します。

その際、最も大切にしていいただきたいことは、「子供たちの声を丁寧に聴く」ことです。あれも伝えたい、これも教えておきたい、今のうちにやっておくことがたくさんあるということで、先生方の思いを伝えたいのは分かります。また、子供たちが登校できているうちに授業を進めておこう、という思いも理解できます。しかしながら、子供たちはこの臨時休業の間、たくさんの思いやストレスをかかえながら生活してきています。そして、ようやく、登校できる日が来たのです。

「どんなことを話そうかな」「友達は元気に来るかな」と、わくわくした気持ちで登校してくると思います。中には、「久しぶりの学校だから行きづらいな。」「居場所があるかな。」と、不安や心配な気持ちを抱えながら登校する子供、もしかすると、登校できない子供もいるかも知れません。そんな子供たちの思いや不安をしっかりと聴いてやってください。そして、しっかり寄り添ってやってください。

この自主分散登校の一番の目的は、子供たちや保護者の不安を少しでも取り除き、子供同士、子供と先生方の絆をつくっていくことです。そして、久しぶりに会った子供たちと、元気で再会できたことを一緒に喜び合っていきたいと思います。

今、まさに予測不能な、決まった答えのない問いにぶち当たっている私たちです。一人では導き出せないこの問いに、学校全体、市全体で協力して対応していきましょう。そして、この難局を、オール安芸高田で、しなやかにたくましく乗り切っていきましょう。

終わりにになりましたが、先生方も感染防止など、健康にご留意いただきますよう、重ねて申し上げます。

令和2年5月12日

教育長 永井 初男